

田平総合型地域スポーツクラブ
マスタープラン

田平総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会

2014年2月

はじめに

田平地区では、平成 25 年度に日本体育協会より「総合型地域スポーツクラブ創設支援事業」の委託を受け、田平地区のスポーツ少年団（野球部 1 チーム、バレー部 1 チーム、サッカー部 1 チーム）を構成団として設立準備委員会を立ち上げました。

今日、子どもたちを取り巻くスポーツ環境は大きく変化しています。骨格は発達しているものの、全体的な体力不足とされています。家庭用のゲーム機の普及などにより、体を動かす機会の減少から、生活習慣病が子どもまで広がっています。また、スポーツをする子としない子の二極化も進んでいます。

このマスタープランは、このような子どもたちの健全な育成、スポーツ及び文化の振興そして生涯教育・社会教育の推進を目指して、田平総合型地域スポーツクラブが地域に根付いた活動していくための指針（使命）と目的、クラブ設立後の姿、そしてそれに向けた具体的な活動（行動）を示すものがあります。

また、このマスタープランは 3 年で見直しを行っていきます。

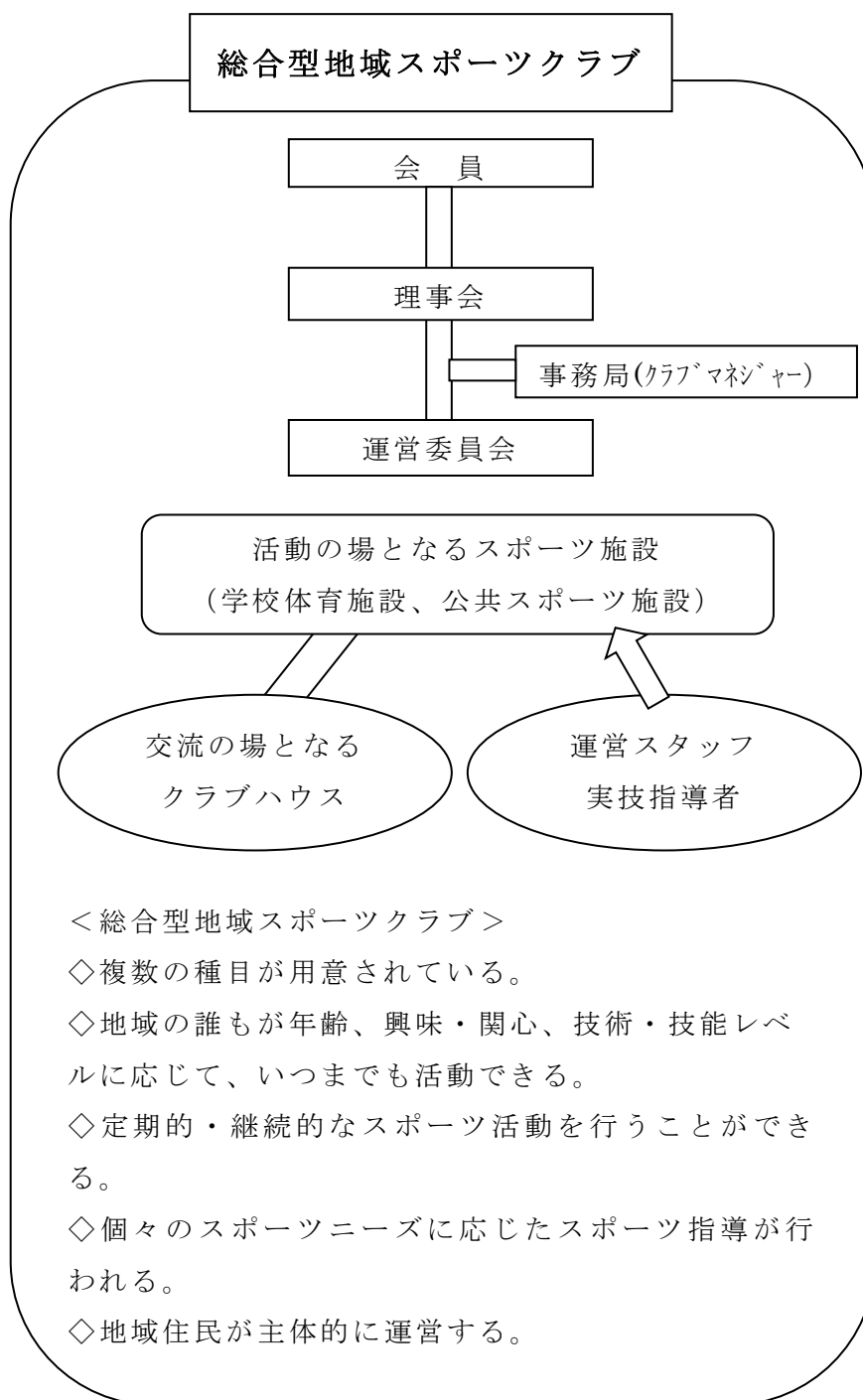
マスタープランの構成

- I 基本理念 1 p
- II 目指す総合型地域スポーツクラブのイメージ 2 p
- III クラブの運営体制（機構図）. 3 p
- IV 目標 4 p
- V 目標を達成するための施策と具体的事業 6 p

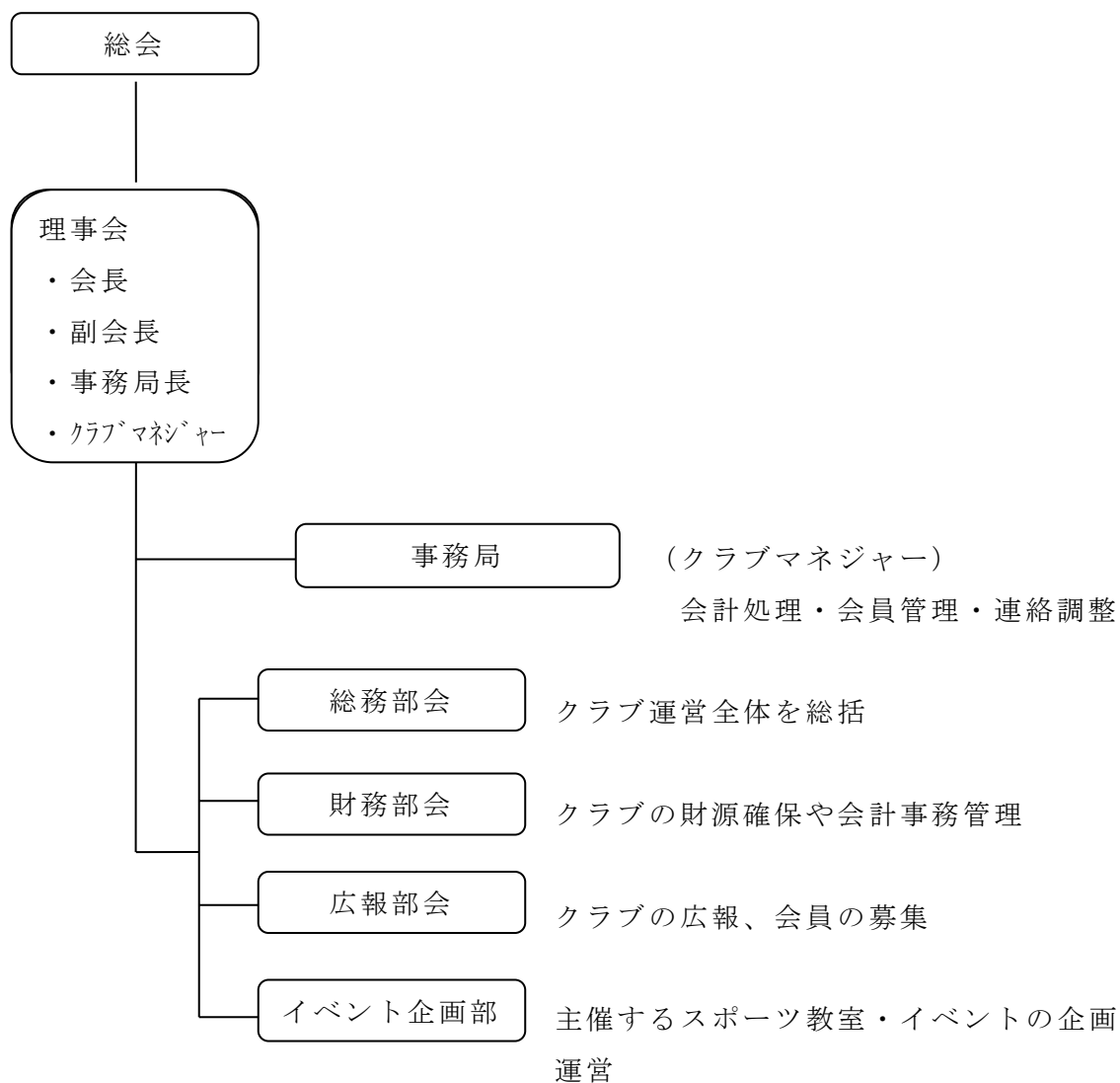
I 基本理念

田平総合型地域スポーツクラブは、総合型地域スポーツクラブとして、①子どもたちの健全な育成、②スポーツ及び文化の振興、③社会教育の推進などを図る活動を行いながら、「スポーツ振興計画」で文部科学省が示す“総合型地域スポーツクラブ”の姿としての、1) 複数の種目が用意されている。2) 地域の誰もが年齢、興味、関心、技術・技能レベルなどに応じて、いつまでも活動できる。3) 定期的・継続的なスポーツ活動を行うことができる。4) 個々のスポーツニーズに応じたスポーツ指導が行われる。5) 地域住民が主体的に運営する。クラブを目指し、地域の特色にあった、とりわけスポーツ少年団を核として、子どもたちの成長を見守っていくとともに、地域住民がいつでも気軽にスポーツをする環境を整備し、スポーツを通した「人づくり」「まちづくり」に努めます。

II 目指す総合型地域スポーツクラブのイメージ



Ⅲ クラブの運営体制（機構図）



IV 目 標 （4つの柱と数値目）

- 1 . 子どもたちの健全な育成と個性を伸ばすスポーツ活動の支援を行います。
- 2 . スポーツを通じた交流の促進の場を提供していきます。
- 3 . スポーツ活動の基盤（活動拠点）の確保を行います。
- 4 . 総合型地域スポーツクラブの組織体制の強化と人材育成を継続的に行います。

（3年後の数値目標）

○ スポーツに参加する児童の割合	30%	⇒	40%
○ スポーツ教室・イベントの数	3事業	⇒	5事業
○ 少年スポーツクラブの競技種目	3種目	⇒	4種目

1. 子どもたちの健全な育成と個性を伸ばすスポーツ活動の支援を行います。

家庭用ゲーム機などの普及で、体を動かす機会の減少により、運動不足による生活習慣病が、子どもにまで広がっています。

また、スポーツ少年団に見られるように、スポーツをする子としない子の二極化も進んでいます。

スポーツを行っている子どもたちに対するスポーツ指導に対し、学校段階ごとに指導者が異なる上、結果をもとめがちになるため、使いすぎによる障害やバーンアウトが生じている場合があります。

当クラブは、このような子どもたちの健全な育成と個性を伸ばすスポーツ活動の支援を行っていきます。

2. スポーツを通じた交流の促進の場を提供していきます。

親子の交流、地域の交流、年代・地域を越えての交流、国際交流などスポーツを通じた交流の促進の場を提供していきます。

地域住民が自発的、主体的に運営できる活動や親子であるいは地域の人と一緒に継続的に活動できる場を提供していきます。

とりわけ、親子・高齢者と子どもたちの交流には、だれでもが行えるスポーツなどを提供していきながら、また高齢者が子どもたちを指導していける機会などを創出して、地域が昔もっていた力を甦らせます。

また、スポーツを楽しんだ後は、交流の場となるクラブハウス等の確保に努めます。

3. スポーツ活動の基盤（活動拠点）の確保を行います。

当クラブの活動拠点となるクラブハウス建設・保有にむけて取り組みます。

また、当クラブ構成団の活動の場となる地区の運動施設・スポーツ施設の確保に努めます。

施設管理者（行政等）からスポーツ施設の管理運営が受託できるようなクラブを目指していきます。

4. 総合型地域スポーツクラブの組織体制の強化と人材育成を継続的に行います。

総合型地域スポーツクラブとしての体力をつけるため、組織体制の強化とクラブマネージャーの配置を行います。

また、クラブ内のチームにおいてどのような指導者が不足しているのか、また、チームの中から指導者として活躍してくれる人がいないかなどを調査し、それらの人に指導者資格の取得に関する研修会や講習会への参加を積極的に行いスポーツ指導者の確保に努めます。

V 目標を達成するための施策と具体的事業

1. 子どもたちの健全な育成と個性を伸ばすスポーツ活動の支援

- 各種構成団の支援
- スポーツ教室の開催（キッズスポーツ体験教室、ニュースポーツ、保育園・幼稚園での出張教室など）
- スポーツ講演会の開催
- 各種交流大会の開催

2. スポーツを通じた交流の促進の場の提供

- 親子の交流（イベント開催）
- 会員同士の交流会の開催
- 年代・地域を越えた交流イベントの開催

3. スポーツ活動の基盤（活動拠点）の確保

- 小学校の体育施設の利用による活動場所の確保
- 行政からの体育・運動施設の管理委託の受託を目指す

4. 総合型地域スポーツクラブの組織体制の強化と人材育成

- クラブマネジャーの育成と配置（後継者育成）
- 運営委員会の定期的な開催
- 各種専門部会の開催
- 会員情報のデータベース化と会員への定期的な情報提供（会報、ホームページ）
- 指導者育成のための研修会や講習会の開催や参加

あとがき

このスポーツマスタープランは、3年で見直しを行います。